

提言「三の丸再整備からはじまる城下町再生 ：三の丸ルネサンスの推進」 （2021年1月27日発表）

◎ 提言の背景

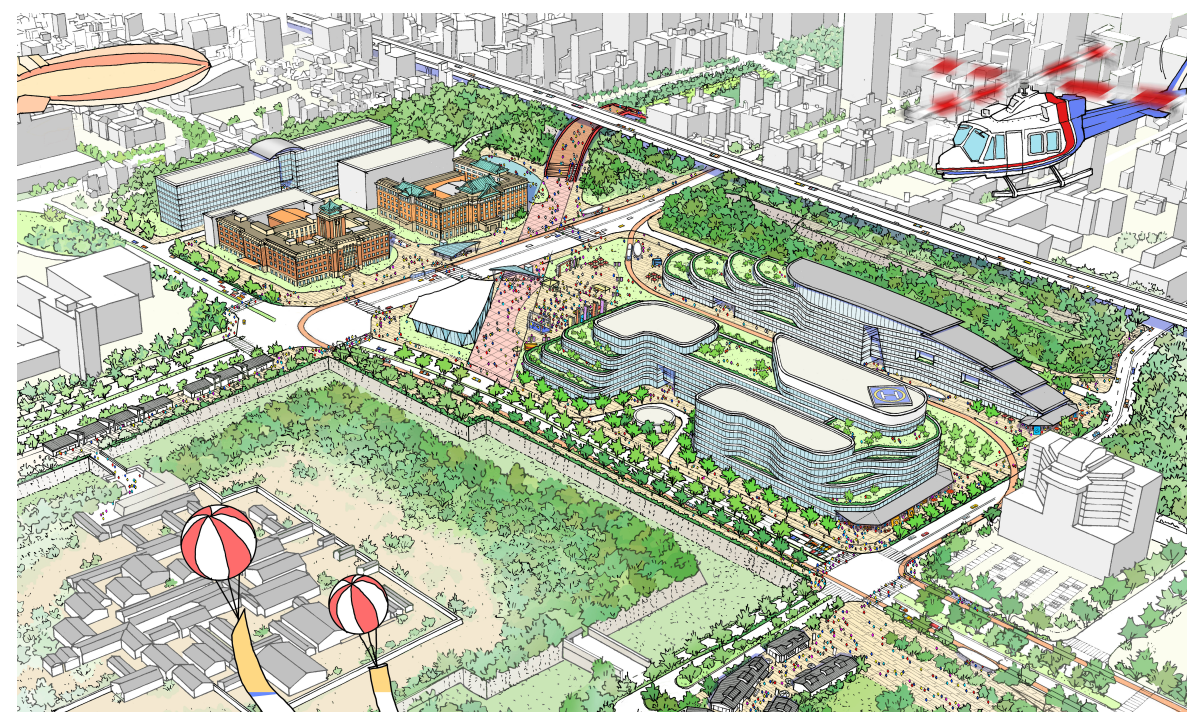
- ①三の丸地再開発をめぐる機運の高まり
（周辺整備、防災拠点としての期待、官公庁施設が更新期）
- ②東京一極集中是正から見た三の丸地区の重要性
（ポスト・コロナ、リニアにおける官民の首都機能の移転）
- ③城下町再生への期成
（国際的なリスpekt、地域プライドが得られる歴史都市へ）

◎ 5つ 提言

◎三の丸ルネサンス期成会
・提言の実現を期成して、経済団体等の賛同を得て有志が設立。
（代表）
奥野信宏 元名古屋大学副総長
（幹事）
加藤義人 岐阜大学客員教授
服部 敦 中部大学教授
山本秀樹 日本プロジェクト産業協議会
（賛同団体）
名古屋商工会議所
中部経済連合会
日本プロジェクト産業協議会
公益財団法人中部圏社会経済研究所

提言 1：官庁街への文化・交流機能の導入

- ・民間活力の導入による官公庁の連鎖建て替えて新たな機能を導入
- ・歴史的資産をユニークベニューとして活用した文化・交流拠点
- ・にぎわい機能を導入し、都心の民間機能の高まりを誘引

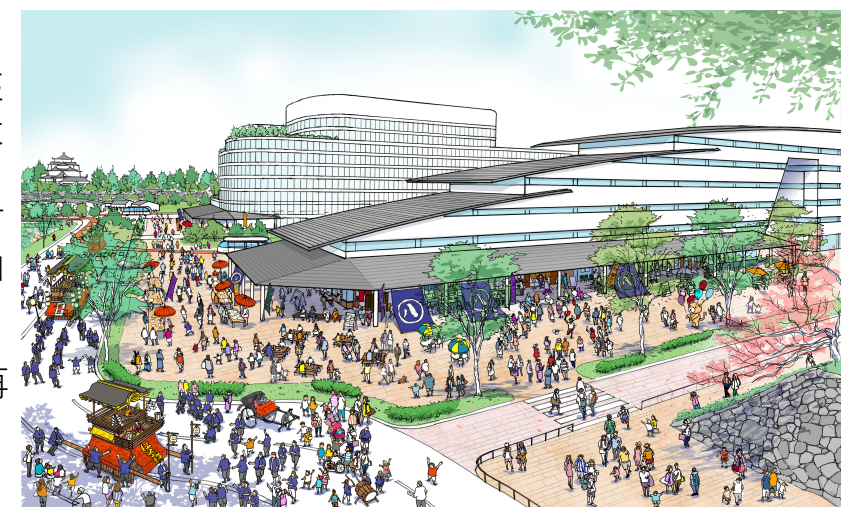


（↑集約的な連鎖建て替へのイメージ）

提言 2：三の丸と城下町をつなぐ名古屋三大祭の再生に着手

- ・江戸期に隆盛を誇った祇園祭に匹敵する名古屋三大祭を復活
- ・三の丸から本町通りに至る歴史軸の整備へ

（→名古屋三大祭再生のイメージ）



提言 3：南海トラフ巨大地震等の有事に備えた地域強靱化のための拠点整備と連携強化

- ・国・県・市が一体的に対応する新たな防災センターの整備
- ・首都圏に有事があった際のバックアップ機能の強化

提言 4：歴史的建造物である県・市の庁舎の活用による迎賓ホテル・博物館等の整備 （↓重要文化財庁舎の活用イメージ）

- ・海外からの賓客をもてなす迎賓館的な宿泊施設や城・刀剣・茶湯等の武家文化に関する国立サムライミュージアム等



提言 5：古屋城と久屋大通をつなぐにぎわいの創出と SRT による都心回遊

- ・1階部へのにぎわい機能の導入
- ・SRT 停車場整備
（→名城地区と栄地区の連続性向上のイメージ）

*名古屋商工会議所と中部経済連合会が共同で提言を行った「東京一極集中是正に向けた地域の機能強化と魅力向上に関する提言」において本提言の内容を引用掲載

